

衣笠だより増刊号①

令和8年 9月30日
京都市立衣笠小学校
校長 日吉 肇
TEL: 075-462-0034
Fax: 075-462-0618
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=101400>



「よく出来ている」と「大体出来ている」という
評価結果の項目を合わせて「達成している」
(出来ている)項目と考えています。

第1回 学校アンケートへの ご協力ありがとうございました。

7月に実施いたしました第1回目の学校アンケートの結果について、ご報告いたします。お忙しい中、今年度もWeb上で回答していただき本当にありがとうございました。昨年度にくらべると保護者の方の回収率が少し低くなったものの、さまざまな角度からの回答をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

子どもたちにとってよりよい環境を整えていくためにも、保護者の方の思いや願いを真摯に受け止め、学校と家庭、地域が同じ目線で子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てていくことが重要だと考えています。

今後とも、衣笠小学校の学校運営にご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

学校アンケート(1)の結果

低学年児童	実現度				高学年児童	実現度			
	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
たのしくがっこうせいかつをすごしている。	76.0%	17.0%	6.0%	1.0%	楽しく学校生活を過ごしている。	82.0%	16.0%	2.0%	0.0%
たのしくがくしゅうし、べんきょうしたことがわかる。	60.0%	36.0%	3.0%	1.0%	めあてをもって、積極的に学習している。	48.0%	45.0%	7.0%	0.0%
クラスのなかでは、じしんがなくてもじぶんのいけんやかんがえをはっぴょうしている。	47.0%	40.0%	10.0%	3.0%	クラスの中では、自信がなくても自分の意見や考えを発表している。	35.0%	33.0%	25.0%	7.0%
とちゅうでなげださず、さいごまでがんばる。	76.0%	22.0%	1.0%	1.0%	途中で投げ出さず、最後までがんばる。	63.0%	30.0%	8.0%	0.0%
ともだちのいいところを見つけ、やさしいきもちをもってなかよくできている。	65.0%	26.0%	3.0%	6.0%	友だちのいいところを見つけ、やさしい気持ちをもちながらよくできている。	70.0%	26.0%	2.0%	1.0%
じぶんからげんきにあいさつをしている。	65.0%	31.0%	1.0%	3.0%	自分から元気にあいさつをしている。	53.0%	40.0%	7.0%	0.0%
がっこうやクラスのきまりをまもっている。	54.0%	43.0%	1.0%	1.0%	学校やクラスのきまりを守っている。	63.0%	34.0%	3.0%	0.0%
そとでげんきにあそんでいる。	51.0%	19.0%	15.0%	14.0%	外で元気に遊んでいる。	44.0%	13.0%	38.0%	6.0%
まいにち、いえてべんきょうをしている。	69.0%	25.0%	3.0%	3.0%	毎日、家で勉強をしている。	50.0%	30.0%	17.0%	3.0%
じぶんからすすんではみがきやてあらいをし、けんこうにきをつけている。	56.0%	35.0%	4.0%	6.0%	自分から進んではみがきや手洗いをし、健康に気をつけている。	61.0%	36.0%	2.0%	0.0%

◆結果と改善策◆

＜学習について＞

低学年では「楽しく学習し、勉強したことがわかる」と回答した児童が96.0%、高学年では「めあてをもって積極的に学習している」と回答している児童が93.0%と、どちらも90%以上の高い割合だったことをとてもうれしく思います。また「途中で投げ出さず、最後まで頑張る」と回答した児童も低学年98.0%、高学年93.0%で、ともに90.0%以上あり、子どもたちの学習に向かう姿勢や意欲の高さが伺えます。

一方で、自信がなくても自分の意見や考えを発表することに関しては、「できている」と回答しているのは低学年で87.0%、高学年では68.0%という結果になりました。とくに高学年では32.0%の子ども達が「できていない」と回答しており、子ども達が自分の意見をもっていても、なかなか発表したり、表現したりすることができていない現状があるのではないかと考えます。引き続き学習の中で「二人組で」・「グループで」・「全体の場で」など、学習形態を工夫し、一人ひとりが自分の思いを発表できるよう日々の実践を積み重ねていきたいと思

います。また子ども達が安心して自分の考えや思いを伝え合える学級の雰囲気づくりにも心がけていきます。

家庭学習については、低学年に比べると高学年になればなるほど、「できている」と回答している児童が減ってきています。学年が上がるにつれて、放課後に習い事などをする児童も増え、家庭での学習時間が取りにくくなることも要因かと思

います。引き続き家庭学習への取り組み方や時間の有効な使い方などを全体に伝えるとともに、習慣化できていない子に対しては個別に丁寧に関わり、家庭と協力しながら支援していきたいと思



<生活面について>

児童・保護者・教職員の3者とも楽しく学校生活を過ごしていると回答しています。楽しく学校生活が送れていると多くの方に感じていただけていることをうれしく思います。一方で、楽しく過ごせていないと回答している児童や保護者の方もおられ、学校としては、この部分の結果を大切に受け止め、一人一人が安心できる居場所をつくれるように日々の教育活動を進めなければならないと感じています。

保護者	実現度				教職員	実現度			
	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
学校で楽しく学校生活を過ごすよう声かけしている。	32.0%	62.0%	4.0%	2.0%	子ども達が楽しく学校生活を過ごせるよう取り組んでいる。	47.0%	46.0%	7.0%	0.0%
家庭で積極的に学習するよう声かけしている。	29.0%	54.0%	17.0%	0.0%	めあてをもって積極的に学習できるよう取り組んでいる。	47.0%	46.0%	7.0%	0.0%
家庭で自分の意見を積極的に発表するよう声かけしている。	24.0%	51.0%	22.0%	3.0%	自信がなくても子ども達が安心して、自分の意見を発表できるよう取り組んでいる。	33.0%	54.0%	13.0%	0.0%
家庭で途中で投げ出さず、最後までがんばるよう声かけしている。	33.0%	54.0%	11.0%	2.0%	途中で投げ出さず、子ども達が最後までがんばれるよう取り組んでいる。	47.0%	40.0%	13.0%	0.0%
家庭でやさしい気持ちをもって友達と仲良くするよう声かけしている。	43.0%	50.0%	5.0%	2.0%	友だちのいいところを見つけ、やさしい気持ちでなかよくできるよう取り組んでいる。	53.0%	40.0%	7.0%	0.0%
子ども達の見本となるよう、自分からあいさつしている。	41.0%	54.0%	5.0%	0.0%	子ども達の見本となるよう、自分から元気にあいさつをしている。	47.0%	46.0%	7.0%	0.0%
家庭で学校やクラスのきまりを守るよう声かけしている。	41.0%	48.0%	9.0%	2.0%	子ども達に学校やクラスのきまりを守ることの大切さを伝えている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
体力向上に向けて、外で元気に遊ぶよう声かけしている。	27.0%	43.0%	30.0%	0.0%	体力向上のためにも、外で元気に遊ぶことの大切さを伝えている。	0.0%	80.0%	13.0%	7.0%
家庭で子どもに家庭学習や読書の習慣を身につけられるよう声かけをしている。	25.0%	46.0%	25.0%	4.0%	子ども達が家庭学習や読書の習慣を身につけられるよう取り組んでいる。	20.0%	73.0%	7.0%	0.0%
子どもが元気に健康で過ごせるように気をつけている。	62.0%	38.0%	0.0%	0.0%	子ども達が進んで歯磨きや手洗いをし、健康に気をつけるよう取り組んでいる。	13.0%	74.0%	13.0%	0.0%
おたよりやホームページなどで子どもの様子や学校の取組を確認している。	42.0%	44.0%	14.0%	0.0%	お便りやホームページなどで子ども達の様子や学校の取組が伝わるよう取り組んでいる。	13.0%	54.0%	33.0%	0.0%
子どものことを学校に相談できている。	29.0%	51.0%	19.0%	1.0%	子どものことを家庭と相談できている。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
子どもに基本的な生活習慣が身につくようにしている。	35.0%	62.0%	3.0%	0.0%	子ども達が基本的な生活習慣を身につけるよう取り組んでいる。	20.0%	67.0%	13.0%	0.0%

とくにあいさつについては、少しでも子ども自身からできるよう、まずは身近にいたる大人が見本となるように取り組んでいきたいと思います。

<健康・安全面について>

外で元気に遊ぶ項目が3者とも昨年度に比べると低い結果となりました。これは暑さ指数が基準を超える日が多く、運動場の使用ができない日が続いたことも要因として考えられます。また季節を問わず、さまざまな感染症の危険性もありますので、歯磨きや手洗いなど生活点検や保健指導、保健だより等でも、引き続き、健康管理の大切さについて伝えていきます。

【学校運営協議会理事会より】

- ・楽しく学習し、勉強したことごわかると回答した低学年の児童が96%と非常に高いことがわかります。また高学年でもめあてをもって積極的に学習している項目が93%と高く、学習面はとても充実していることがわかります。クラスの中では自信がなくても自分の意見や考えを発表している項目では低学年に比べて高学年であまりできていない、できていないが13%から32%と増加しているのを、手を挙げることの恥ずかしさや、意見を発表することで注目されることが嫌だたりと思春期の始まりを感じます。
- ・高学年で低下傾向にある家庭学習の定着に向け、放課後の過ごし方に配慮した効果的な課題設定や、家庭と連携した個別の声かけを行っていくべきと感じた。
- ・自分から元気にあいさつしている項目で、低学年と高学年を比べるとできていないが3%から0%と児童の意識の中であいさつが身につけていることがわかります。
- ・児童のあいさつ習慣化に向け、まずは保護者や地域の大人が見本となって率先して声をかける取り組みが必要ではないかと思う。
- ・自分から進んで歯磨きや手洗いをし健康に気をつけているという項目でも低学年と高学年を比べるとできていないと6%から0%に手洗い、歯磨きの習慣が身につけていると思います。
- ・暑さ指数の上昇で外遊びが制限される現状を踏まえ、室内での運動工夫、熱中症対策、手洗・歯磨き等の基本的な生活習慣の指導徹底が必要と思う。
- ・友達のいいところを見つけ、優しい気持ちをもって仲良くできている項目であまりできていない、できていないが低学年では9%、高学年3%と友だちと仲良く過ごしていることがわかります。大半の生徒ができていないからといってできていないと回答している生徒がいることは常に考えておきたいですね。
- ・「楽しく過ごせていない」と感じている児童の存在を真摯に受け止め、全員安心できる居場所を行き渡らせるよう指導体制の徹底が必要と思う。
- ・教職員も家庭があり、お子さんがいて、地域の活動があるので教職員はあくまで仕事であると思います。家庭に帰れば学校のことを考えなくても良いようにして欲しいです。
- ・地域・保護者ボランティアによる見守りや行事支援を強化し、教職員が子供に向き合う時間や相談対応の時間を確保できるように協力が必要と思う。
- ・子どものことを学校に相談できているという項目で、約20%の方が相談できていないとありますが、なんでもかんでも学校に相談すればいいというものではないと思います。教職員にも負担が大きいかと。学校側からこんな機関があるよと紹介や案内があれば十分だと思います。最近ではすぐで不登校の方向けの案内がきているな一と思って見えています。これからも学校が情報を発信する役割を担ってくれればいいと思います。